

2022 年度事業計画

I 公益事業

1 学校教育の後援

- ①新庄中学校、新庄小学校、新庄第二小学校、新庄幼稚園へ学校教育後援資金として相当額を助成する。尚、新庄中学校、新庄小学校、新庄第二小学校への助成は ICT 環境整備に関するものを優先する。
- ②新庄小学校、新庄第二小学校、新庄幼稚園へ図書購入資金として相当額を助成する。

2 社会教育の後援

- ①新庄町内会連合会へ社会教育後援資金として相当額を助成し、その活動を支援する。尚、コロナ禍から開催を中止した行事等の残金は本年度開催する行事等に引き当てる。
- ③「ふるさと新庄のあゆみ」作成費用として新庄郷土誌作成委員会に相当額を助成しその活動を支援する。

3 土地無償貸与

- ①学校教育、社会教育、防災などの目的に使用される土地を関係機関に無償貸与する。
- ②田辺市消防団新庄分団車庫の新設・移転に伴い、新設敷地を田辺市に無償貸与すると共に、旧敷地は、名喜里町内会・内之浦町内会に駐車場用地として無償貸与する。

II 収益事業

- 1 駐車場事業・不動産貸付業から得られる賃料を公益事業に充てる。
- 2 土地資産について、地籍調査に基づく境界の調査・測量などを行い維持管理に努めながら収益確保の可能性の検討を進める。
・2022 年度は、旧中山池中山墓地周辺整備を進めるための調査、及び十津川山林内への作業道建設のための調査を行う。
- 3 2020 年度から田辺市水道部で事業化が進められている「新東部排水池整備事業」に関連して保有土地の譲渡など事業推進に向けての協力を行う。
- 4 金融資産について、安全性を重視した運用を前提に見直しを行いながら運用益を確保する。

III 組織運営 その他

- 1 助成事業委員会、収益事業員会での議論を踏まえ、予算遂行を優先にした組織運営を徹底する。
- 2 「新庄の 10 年先を考える学習会」の立ち上げに伴い、具体的なまちづくりのテーマを検討する為に開催される学習会への助成を行い、その活動を支援する。
- 3 墓地用地の実態調査を進め、各々利用実態に即した運営形態への変更を進める。
- 4 ため池・堤について、防災上の観点から利用状況の調査と廃止を進める。
- 5 密を避ける意味で会議等は、テレビ会議（zoom）・メール等を活用したオンライン環境も併用する形で行う。

以 上